

令和元年度 第6回行財政改革推進委員会 会議録（要旨）

- 1 日 時 令和2年2月18日（火）18：00～19：00
- 2 場 所 旭川市総合庁舎2階 秘書課第2応接室
- 3 出席者 秋山委員，鹿野委員，古松委員，芝木委員，田中委員，増田委員
総務部行政改革課 向井部長，松田課長，青葉主査，會津
総合政策部財政課 木村次長，小澤主幹
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 会議資料
次第
旭川市行財政改革推進プログラム2016の改訂に関する答申案

6 議事要旨

- (1) 旭川市行財政改革推進プログラム2016の改訂に関する答申について
資料に基づき，答申案について説明を行った後に質疑応答を行った。
概要は次のとおり。

（委員）

「公共施設の適正な保有量について」の記載があるが，分かりやすいよう修正してはどうか。（答申案 P2）

（委員）

ICT の活用に関する記述について，積極的な取組の推進よりも情報弱者への配慮が強調された印象を受ける。推進と配慮が並列になるように修正してほしい。（答申案 P2）

（委員）

マイナンバー制度には，「行政の効率化」「国民の利便性向上」に加えて「公平・公正な社会の実現」という3つ目の目的があるが，これについて追加してほしい。（答申案 P2）

（委員）

「～市の財政状況や将来の見通しについて市民にしっかりと理解してもらうよう，学生などの若者を含め，説明する機会を～」の記述があるが，一番理解してもらうべきは，高齢者など実際に行政サービスを多く受けている人たちであるため，修正してほしい。（答申案 P4）

（委員）

市民が行政を身近に感じることであれば，市に対する理解も深まるのではないか。「自らが主体となって行政を変えていく」という意識が市民に醸成されるように努めてほしい。

また，市のホームページは単に内容を書き連ねているだけで，真に市民が理解できるつくりではなく，受動的な情報発信になっている。（答申案 P4）

（委員）

職員の意識改革の部分は，具体的に書いたほうがよい。（答申案 P4）

(委員)

「スマート自治体」や「RPA」など専門的な用語が見受けられる。プログラムの本編では、注釈をつけるなど、幅広い世代の市民が理解できるようにしてほしい。(答申案 P2)

(行政改革課)

改訂の際には、注釈をつけるなど対応したい。

(会長)

今回の意見を反映して答申とする。